



## コンパクトなまちで あこがれの田舎暮らしを満喫!



まえだ けんいち  
**前田 健一**さん  
移住時期/平成28年10月 居住地区/神下  
出身地/鹿児島県霧島市(埼玉県から移住)  
職業/会社員 年齢/30代 家族構成/妻、子ども2人

もともと田舎暮らしへのあこがれがあったんです。子どもの成長に伴い、一緒に過ごす時間を持たたいという気持ちも生まれ、移住を決意しました。

実家に比較的近い鹿児島・宮崎にしほり、移住相談会に参加。いくつかの町を見て回った中で、自然が豊かで、まちがコンパクトにまとまっている綾町が私も妻も一番しっくりきました。宮崎市にある新しい勤務先に通勤できることも決め手になりました。

綾町の水と野菜のおいしさには毎日、感動します。何よりうれしいのは、移住前に比べて

幼稚園に通い始めてしばらくしたころ、娘が「これ、おいしいっチャガ」と満面の笑顔で言ったときは、家族で大笑い。大人よりずっと早くなじんでいるな、ここでの生活はきっと大丈夫だな、と安心しました。

新生活は本当に満ち足りています。あまり便利になり過ぎず、このまま、のんびりした美しいまちであってほしいと思っています。

ベ帰宅時間が格段に早くなったので、家族皆で夕食をとれること。そして、子どもと遊ぶ時間が増えたことです。綾町は県内のアクセスがよいので、山登りや釣りの趣味もできました。宮崎の20度の焼酎も気に入っています。ロックで飲むとおいしくて、つい飲み過ぎてしまいますね。



食の優先順位が高い前田家。安くておいしい野菜がたくさんある「手づくりほんものセンター」が夫婦のお気に入り



## 豊かな自然の中で 野菜づくりにチャレンジ中!



ふじわら みつお  
**藤原 光生**さん  
移住時期/平成23年4月 居住地区/麓  
出身地/熊本県玉名市 職業/農業  
年齢/20代 家族構成/単身

綾町で就農して5年目です。実は、通っていた地元大学の経済学部で、家族や親戚に農家はいません。でも「食糧生産が大事な時代だから生産現場で働いてみたい」と、3年生のとき農業研修を始めた。そこで知り合った仲間と訪れたのが、綾町でした。

町内の農家で2年間の研修を受けた後、独立。ニンジンやオクラ、ソラマメなど10品目をつくっています。初めはうまくいかず、畑で一人泣いたこともありましたが、でも、自然生態系農業の先輩たちが栽培方法や経営の相談にのってくれたり、もう使わないか

知らない土地で就農したことを、両親はとても心配していたけれど、今は応援してくれています。実家に家庭菜園ができていたり、ジャガイモの収穫をしに綾に来てくれたり。何だかうれしいですね。

移住・定住支援では、単身者へのサポートの充実を期待します。若い世代が挑戦しやすくなれば、後継者不足の解消にもつながるのではないのでしょうか。

らと機械を安く譲ってくれたり。試行錯誤して、一昨年から軌道に乗り始めました。

綾町の自然の豊かさは格別だと日々、思います。上流の冷たくてきれいな水が田んぼに入るからお米がすごくおいしいし、天気の良い日に収穫をしていると、全身で気持ち良さを感じます。



綾に移ってきたとき、尾谷川の奥でホテルが乱舞する幻想的な光景に感動したそう(写真は綾南川のゲンジボタル)



# 私たちに 綾町に移住しました!



綾町では、出生率日本一を目標に移住・定住を促進する事業を展開しています。特に、子育て環境の充実に力を入れていることから、小学校の児童数が増えるなど、その取り組みの成果が徐々に現れ始めました。また、子どもだけでなく、さまざまな経験や知識、技術を持つ「人財」が増え、まちの元気に繋がっています。

そこで、綾町に移り住み、日々の生活や仕事を満喫している3人に、移住のきっかけや綾町の魅力などについて話を聞きました。私たちのまちには、普段は気付かない豊かさや住みよさがあるようです!

## あたたかな人たちに恵まれ 開業を実現!



すやとう さわみ  
**酢矢藤 沢美**さん  
移住時期/平成23年3月 居住地区/麓  
出身地/大阪市 職業/染色作家  
年齢/40代 家族構成/夫、子ども3人

子どもの食物アレルギーをきっかけに、次第に「環境に配慮した場所に住みたい」と思い始めました。そんな中で訪れた綾町は、移住の窓口や不動産業者がとても親切でした。「ここなら安心して暮らせる」。そう感じて、移住を決めました。

移住してから染色に出合い、綾城の一角にある工芸館を利用できることになり、自分で作った服の草木染めを始めました。そして昨年7月には、自分の店を持つことに。人との出会いやタイピングに恵まれて、大きな波に乗っているような不思議な感覚で、



懐かしい雰囲気綾陽校記念館に「LOVE」を、友人たちと始めた「LOVE綾写真展」も今年で6年目

開業を実現できました。綾は本当に人があたたかいですよね。気さくに声を掛けてくださったり、おいしい野菜や、草木染めに使うクちなシの実などを届けてくださったり。地区のお花見や子ども会をはじめ、工芸コミュニティ協議会の活動、「私の好きな綾」をテーマにした写真展の運営、草木染め体験の指導などを通して、すうっと町の暮らしに溶け込めたような気がしています。

最近、観光客が増えていることを実感しています。すてきなカフェや食事ができる店はたくさんありますから、お土産品や雑貨などを販売するお店が中心部に増えると、人の流れが生まれて、ますます元氣な綾町になれるんじゃないかなと期待しています。